

2012年 第一期(1月1日から4月30日までの4ヶ月間)の収支決算

《 収 入 》

単位は1,000ウガンダシリングです。約30シルが1円です。

項 目	額(千UGX)	割 合	額(円)
A)銀行からの引き落とし(今までの貯金と寄付金)	4,500	53%	150,000
B)訪問者の滞在費	1,735	20%	57,833
C)訪問者の寄付金	980	12%	32,667
D)通学児保護者からの授業料(1学期、20千シル)	589	7%	19,617
E)採石場の使用料・その他物品の売り上げ	86	1%	2,853
<F>農業収入(畑からの収穫と家畜の売り上げ)	620	7%	20,667
合 計	8,509	100%	283,637

《 支 出 》

単位は1,000ウガンダシリングです。約30シルが1円です。

項 目	額(千UGX)	割 合	額(円)
a)食糧費	3,577	44%	119,240
b)人件費(先生・用務員の給料)	1,066	13%	35,543
c)教育費(教材費、外部の学校の授業料・諸経費)	1,027	13%	34,227
d)総務費(通信費、諸修繕維持費、裁判/登記経費)	246	3%	8,203
e)交通費(交通費、ガソリン代、車修繕費)	585	7%	19,483
f)日用品費(光熱費を含む)	581	7%	19,380
g)医療費	208	3%	6,930
<h>農業経費(種苗・耕作人件費)	800	10%	26,667
合 計	8,090	100%	269,673

◎ 訪問者数: 1月-2人/延べ8日 2月 -2人/延べ28日
 3月-6人/延べ70日 4月-2人/延べ39日

〈 総括 〉

今期はOSSANが、期間後半の2月26日から日本に行き、学校を留守にしていたので、前年同期、前期(昨年第3期)共に比較しても、大幅に緊縮した収入・支出になっています。これは、まだまだ現地スタッフが資金管理に不慣れである為、OSSANが留守のときは極力支出を抑えるからです。職員の勤務評定も、OSSANの帰国を待って、遑って行われることとなります。

まず収入(支出に応じて出金する銀行からの引き落としのこと)ですが、前年同期が800万シルだったのに比べ、今期はわずか450万シルでした。つまり350万シルも節約しました。訪問者の滞在費は前年同期に比べ、70万シル増え、訪問者からの寄付金は50万シル減りました。

支出については、前年同期合計が1,020万シルだったものが、809万シルに減じ、全支出の28%であった食糧費が今回は44%を記録しました。相変わらず高騰する食糧価格、他の支出を抑えても食糧費をこれ以上抑えるのは困難な状況です。

今期、緊縮財政の1番のシワ寄せを受けたのは、職員の給料でした。前年同期260万シル(前期は300万シル)だったのが、今期は100万シルのみ。OSSAN留守の間、頑張ってくれた職員に対する穴埋めは、この後の第2期にすることとなります。

雨季である4、5月に、今年は異常降雨があり、植えつけたばかりの作物の多くが流されてしまいました。今年後半以降、農業収入が減り、食糧費が大幅に増大することが予測されます。大変に身勝手ながら、村人からその大事なトウモロコシを買いあさる日々です。

<児童数と職員数> 2012/05/31現在

・寄宿生： 22名（内、他校への通学者： 4名） ・通学生： 70名
・教員： 3名（他、補助教員： 2名） ・用務員： 1名

<ご寄附頂いた方> 2011/09/01～2012/04/30

・宇佐美 香織 様 ・カタタ ソンニヨン 様 ・佐藤 和生 様
・タナベ カナエ 様 ・塚原 ともこ 様 ・中村 ゆり 様
・林 優博 様 ・渡邊 恭晃 様
・青木 悟大 様 ・江口 幸子 様 ・岡野 あさみ 様

* あいうえお順に記載しております。

皆様の日頃からのあたたかいご支援・ご協力を心より感謝申し上げます。お預かりしました寄付金は全てNewtopiaの児童達が健やかに育つ為に有効に使わせて頂いております。この場をお借りして、深く御礼申し上げます。